

ダム建設に疑問を抱いている高槻市民です。先ほどの方と一緒に山に行きましたので、重なる部分があるかと思えますけれども、説明させていただきます。

9月25日に砂防ダムの上流にある治山ダムを見てきました。3基の治山ダムは満杯になって、表面はゆるやかな勾配で、細かな砂や泥で覆われていました。そして、いっぱいになっていますけれども、土石流の原因となる大きな礫は見られません。この治山ダムで止まっているとみられるので、もしも大雨が降った場合、細かな土砂は流れて出てきまずでしょうが、大きな礫はこの治山ダムで止まるので、下流域の土砂災害を防ぐことができます。土石流を防ぐために治山ダムが機能していると思います。

先ほども話に出ましたけれども、東側にある檜尾川の支流の方では、直径が1mもあるような岩の礫の上に土砂が積もっていたり、倒木が倒れていたりにして、土砂をせき止めているところがありました。でも、檜尾川ではこういう場所は一切ありません。9月25日に川の中をずっと歩きましたけれども、一切そういう場所はなくて、きれいな水が流れて、小さな数センチの礫や岩盤が見えているだけで、砂さえもほとんどないというような状況でした。ところどころ砂はありますが、それは土石流とは関係ないと思います。

このことから、今ある治山ダムが十分に機能していますので、砂防ダムは必要と思っておりません。

（図1）

図1の1は、上空から見た砂防ダムで、砂防ダムが建設されてすぐのときの図です。等高線は黒い線で、矢印は川の流れ、檜尾川を青で書いてあります。それから茶色で書いたのは、前もお話ししたとおり、柔らかい地層の大坂層群の場所です。あとの部分は、いろいろありますけれども、大体は硬い岩石の丹波層群になります。破線が大坂層群と丹波層群の不整合の境界線です。そして、砂防ダムがいっぱいだったときの最大の水位線を黄緑色であらわしています。そして、斜面崩壊の記号を点と線であらわしています。檜尾川は固まっている岩盤の上を流れています。

図1の2は満砂の状態、檜尾川はまだ岩盤の上を流れています。砂防ダムの建設予定地の右岸では大坂層群の地層が標高約100m付近から硬い丹波層群の上に乗っています。砂防ダムが埋れた場合に、水面が上がるということがあります。満タンになったときには中を通り抜けるだけで、何のことはありませんけれども、たくさん雨が降って、たくさん出水した場合には水位が上がります。そうすると、最大水位線に近くなったり大坂層群のところには達しますので、大坂層群はほとんど土と一緒に柔らかい地層ですので、右岸が浸食されて、どんどんと流されていくということになります。

そうすると、図1の3ですが、今までちゃんと止まって底にたまっていた大きな礫までも流されてしまって、横から下流へ土石流を発生するおそれがあります。4は、通り抜けるということで、役に立たなくなるということを示しています。

このように、こういう地層では、大変危険だと考えますので、必要でない砂防ダムをつくって、かえって危険性を巻き起こすということを私は大変心配しております。

（図2）

檜尾川と淀川の合流付近です。先ほどの陳述で、中流域のことをおっしゃいましたけれども、下流です。ここも堆積土砂はないということを写真で示しています。檜尾川下流は1985年に河川改修によって川の底にはコンクリートが敷いてあり、コンクリートの板が見

えているところがわかると思います。堆積というよりも、浸食がすすんでいると思われる。

河川改修により川幅は広くなり、川底を下げていますので、土砂は改修前よりも堆積するはずなのですが、水路は土砂が埋まっているところか、ところどころ水路の付近に雑草が生えているのみという状況をあらわしています。つまり堆積土砂はみられません。

(図3)

上が檜尾川の治山ダムで、下は大阪府のチラシの一部です。大阪府のチラシには、以前に話がありましたが、過去にあった檜尾川の洪水災害として、1953年の淀川からの氾濫しかふれてないということは、現在、河川改修とか浚渫などが行われていて、安全であることを示しています。

下の右は砂防ダムですが、茨木市にあるものです。大阪府は財政難です。砂防ダムがコンクリートでつくられたとしても、約3億円かかると思われます。ましてこういう周辺環境と調和した砂防ダムとして、表面に間伐材を使ったり、魚道をつくったり、自然環境とっているいろいろな構造物を使えば、もっとかかります。幾らかかるか、ちゃんと情報公開してください。自然環境の保全をいうのだったら、今のままでこそ緑と水の美しい安全な山ですので、大変ありがたいと思っております。このままで残してほしいと思っております。

具体的には、前に言ったように、緑のダムとしてちょうど地形がよるので、何もここに砂防ダムをつくることはないと私が以前に話したとおりです。

個人的な話なのですが、財政の問題ですので、一緒のことだと思い、話させていただきます。私は10年間ほど中学校の講師をしていました。大阪府は、そのころは生徒がだんだん増えてきた急増期で、先生をちゃんと雇えばいいんですけども、増えるのに合わさずに、期限で切れる私のような講師を採用なさいます。ですから、現在生徒の少ない今は仕事がありません。講師だから給料も安く、そして、例えば休暇の計算式でも少ないですし、いろいろと待遇は違います。けれども、学校内では一人の先生として全部同じ内容です。学校内では職員会議にも出ますし、責任もちゃんとありますので、一緒の仕事内容です。

例えば、府の待遇についてですが、まず一つですが、講師というのは、突然電話で仕事を依頼されますので、月の初めから仕事が始まることが少なくほとんどありません。いくら交通費がかかろうとも、中途採用のときにはその月の交通費は出ませんでした。1年間の雇用のときには、わざと3月30日付の期限にします。これを31日にしないところが問題です。月末付にすると、年金や保険が払われます。つまり3月中仕事はして給料は出て、やめてから、3月中の年金とか健康保険とかは自己払いです。半額を出してもらえません。つまり仕事はしても、3月分から全額自己負担で、自分の国民年金と、継続の保険も、払わなければいけないので、納得できません。

こういうふうに大阪府は支払うべきものを払わないで、こういうものにお金をかけようとするのは納得できません。ですから、財政のことも考え、もっと出すべきところを考えて、大阪府はいろいろと事業をやってほしいと思っております。よろしく願いいたします。

(追加意見)

先ほどダムの値段が幾らかかるのかというのを教えていただけなかったもので、はっきりとおっしゃってほしいと思います。概算で結構ですので、それが判断材料になると思います。

介護保険など福祉もそうですが、大阪府は削減していますし、教育もそうなんですが、福祉の方は余りよく知らないので、学校の現場の状況が大変悲惨であるということを述べたいと思います。これも財政の問題に大いに関係があると思いますので。

一つの原因に、私のような講師を入れて、20年前ぐらいからちゃんとした先生を入れてないことから、現在の先生は高齢化しています。つまり50才前後の先生が大方で、若い方がほとんどいません。20代・30代の方が1人2人とか、そういうふうな哀れな状態なので、学校の経営が成り立ちません。それでも運動会の指導とか、いろいろ大変な行事はこなしているんですけども、大変です。中学校に至っては、クラブ活動があります。土・日と出ていらしていますが、「クラブ活動は義務教育としない。」という文言だけで、府は一切目をつぶって、何も出しません。スポーツクラブの先生方は、土・日に、例えば大阪市で試合があったとしても、交通費さえも出ません。それでもボランティアでやっているわけです。

教材費といっても紙代のみで、これもコピーすらも何枚までしか使えないとか、この紙は安いから、高い紙を使ってはだめだとかです。別のことをしようと思ったら、私は理科の教師ですから、薬品とか実験用具が必要なんですが、ありません。だから家にある容器や調味料を持ってきたり、そういうふうなものでしか実験はできない。そういう中でどうやってちゃんとした教育ができるんですか。もっと人も増やしてお金も増やしてください。そうじゃないと、教育現場はよくなりようがありません。そういうところにもっとお金を回してほしいです。本当によろしくお願いいたします。